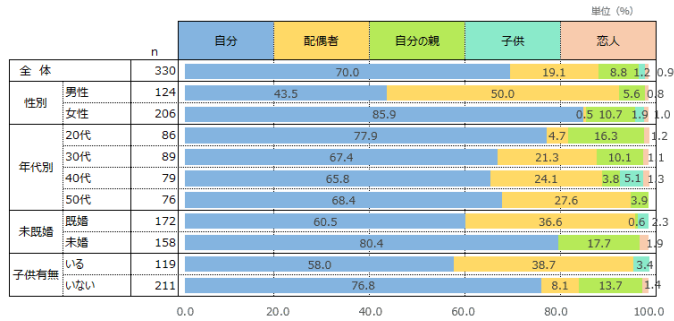


お弁当に関するアンケート調査

毎日のお弁当作りって
たいへん!?

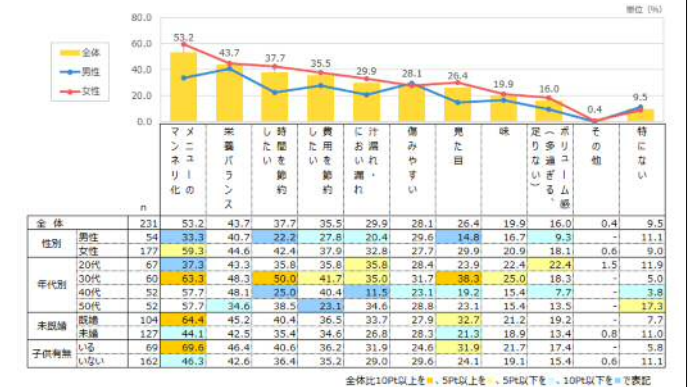
Q1. あなたのお弁当を作っている人は、主にどなたですか？最も多い方をお答えください。(1つ選択)

■自分のお弁当を作る人は「自分」が7割、男性は半数が「配偶者」だが「自分」も4割強 n=330



気づいたこと

Q2. お弁当作りについて、悩みはありますか？あてはまるものをすべてお答えください。(複数選択可)



気づいたこと

Q3. あなたがお弁当作りによく活用しているものを、すべてお答えください。(複数選択可)

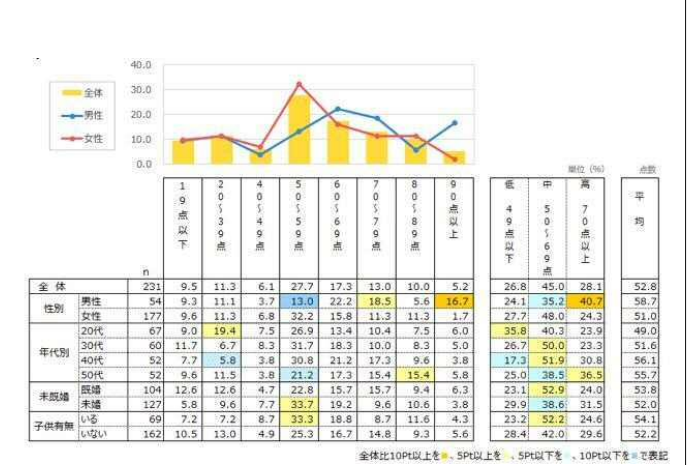
■お弁当作りに活用しているものは「市販の冷凍食品」が50.6%でトップ n=231



気づいたこと

Q4. 「こんなお弁当が作りたい」という理想を100点とすると、あなたのお弁当は何点ぐらいでしょうか。(数値入力)

■手作り弁当の自己評価は平均53点、90点以上はわずか5.2% n=231



気づいたこと

Q. ばっちりなお弁当を作るためのもう1つの条件は何だろう。

テレビCM 家事の主役の座、男性が猛追 今さら？

CMの今と昔！
どう変わった？

CMの中で家事をする男性が増えています。研究結果によると、調理シーンでは女性を上回り、掃除洗濯シーンでも差が縮まってきたそうです。背景に何があるのか、専門家たちに読み解いてもらいました。



食品や生活用品のテレビCMの中で調理や掃除、洗濯をする「主役」が、女性から男性に変わりつつある。そんな研究結果がまとまった。背景にあるのは、共働き家庭の増加などで、家事をする夫が増えていること。一方、描かれ方は「家事初心者」や「趣味家事」だという指摘もある。

「夫史上初のセリフ」という画面いっぱい文字に続き、俳優の濱田岳さん扮する夫が「お、オレお皿洗おうか？」と切り出す。すると「妻3年ぶりのセリフ」という文字に続き、妻役の女性が「あ、ありがとう」。夫は「意外とかんたんじゃーん」と、うれしそうに皿を洗う。

日用品大手のライオン（本社・東京）が7月から流している洗剤「Magica」のCMだ。ブランドの責任者の鈴木彩子さんは、「説教くさいと耳を傾けてもらえない。感謝の気持ち生まれ、夫婦の風通しがよくなることを、ポジティブに伝えられた」と話す。ネット上では、皿洗いもしたことがない夫という設定を「今さら」ととらえる人もいれば、勇気を出して一歩を踏み出す夫に共感する声もあったという。

視聴率調査会社「ビデオリサーチ」の村田玲子さんと、大妻女子大の田中東子・准教授は、食品（2017年度広告出稿量上位12社分）と掃除洗濯用品のCMについて共同で研究。08年から昨年までの10年分、各年8月（大掃除用品のみ12月）に放送された15秒CMを調べた。

村田さんは、「共働きや単身世帯が増え、夫に家事をしてほしいと考える女性や、実際に家事をする男性が増えていることによる変化だ」と分析する。15年ごろからは、女性ばかりが家事や育児をしたり、女性を性的に描いたりしたネット向けの宣伝動画の炎上が目立ち始めた。こうした動きも、企業が家族・家事観の変化に敏感になる後押しになったとみられる。

家事をする男性が増えてきたとはいえ、16年の総務省の調査では、女性の家事時間は男性の7・5倍だった。村田さんは「実態としては、まだ女性が家事の多くを担っている。そのためCMでも、男性が家事初心者だったり、やりたいところだけにこだわる『趣味家事』だったり、という描かれ方が目立つ」と話す。また、子どもがお手伝いをするシーンでは、登場するのが女の子ばかりなのが気になるという。



Q. ばっちりなお弁当を作るためのもう1つの条件は何だろう。

「平等」は難しい？ 結婚後の家事分担について

女性の社会進出がすすみ、共働き家庭も増えた昨今。あなたは結婚したら、パートナーと家事を分担したいですか？ 今回は、「結婚後の家事分担願望」について、社会人男女に聞きました。

Q.結婚したら家事は平等に分担したいですか？
{ したい……%
{ したくない……%

平等に分担したい

分担すれば家事は片付く

家事の負担はさとうなもの。共働きしている夫婦にとっては、平等に分けたほうが不満や争いのもとにならない

共働き世代

仕事がある

「家事なんて分担すれば休みの日でもすぐに片付くし、毎日するの分ければ早い」(男性/30歳/情報・IT/営業職)

「女性にだけ負担をかけたくないから。子どもが産まれたらなおさら」(男性/37歳/医療・福祉/専門職)

「現代は共働きが多いので、奥さんのみ仕事も家事もがんばらなくてはいけないのは不公平だから」(女性/34歳/金属・鉄鋼・化学/事務系専門職)

「仕事は少しでもやりたいから、2人で相談してできることをそれぞれがやりたい」(女性/23歳/学校・教育関連/その他)

なぜ女性だけが？

女性の負担を減らす

「同じように正社員として働いているから」(女性/30歳/自動車関連/その他)

「男子、女子、関係なく家事や子育ては共同して行うことだと思うから」(男性/36歳/人材派遣・人材紹介/事務系専門職)

「結婚しても仕事を続けたいので、それぞれ得意な家事を分担してほしい」(女性/33歳/建設・土木/営業職)

「助け合えるところは助けあわないと、しんどくなるから」(女性/31歳/金融・証券/営業職)

「自分の両親もそうだったから当たり前」(男性/32歳/医療・福祉/専門職)

男

女

「家にいる時間のちがいがから、女性に家事をやってほしい。男性は、休日など時間があるときだけ、手伝う程度」(男性/29歳/情報・IT/事務系専門職)

「収入(=仕事量)に比例して分担すべき」(男性/34歳/印刷・紙パルプ/販売職・サービス系)

「量的に平等でなくてよい。平等、と決めたらそれに縛られて不満を感じたりしそう。自分と相手の得意不得意とその時々でゆるく分担したい」(女性/29歳/情報・IT/専門職)

「男の人に家事をしてもらいたくない。その姿が情けなく見えてしまう。自分の父親も家事はまったくしない人だったから、男の人が家事をするのは違和感。一緒に料理するのはオッケー！」(女性/35歳/小売店/販売職・サービス系)

家にいるほうがするべき

「疲れてるから助けてもらいたいけど、人に任せるのは性格的に無理だから。横で私の機嫌をとってもらいたい。それで喜んで私が全部するように仕向けてほしい」(女性/36歳/金属・鉄鋼・化学/技術職)

「仕事が遅いので、毎日定時上がりの彼女にお願いしたい」(男性/36歳/その他/事務系専門職)

「料理は絶対苦手なのでできるだけやってほしい！」(男性/36歳/医療・福祉/専門職)

「面倒なことはすべて私、最後までやっても完全ではないし、時間がかかりすぎる」(女性/34歳/医療・福祉/専門職)

「家事は女性がすることだと思うから」(女性/30歳/その他/その他)

家事の平等な分担は厳しい

難しいことは女性に

男女には役割がある

平等に分担したくない

マイナビウーマン調べ
調査日時：2016年2月26日～2月29日
調査人数：444人(22歳～39歳の男女)

Q. ばっちりなお弁当を作るためのもう1つの条件は何だろう。

1. もし、給食がなくなり、毎日、お弁当が必要となったら…。毎日のお弁当作りはどのようになるとおもいますか。気を付けたいこと、大切にしたいことは何でしょう。

2. 課題

グループのみんなにばっちりな手作りお弁当を考えよう
計画、作る、食べる、片づけまでばっちりに…

3. エキスパート活動

《ばっちりなお弁当のもう 1 つの条件とは…》

A	
B	
C	

4. シグソー活動

《ばっちりなお弁当のもう 1 つの条件とは…》

5. クロストーク

《お互いに気持ちよく弁当作りができるためにはどうしたらよいだろう。》

6. 振り返り